



八幡小だより

強く 正しく 明るく

開校 150 周年目の山鹿市立八幡小学校

令和 6 年度学校だより No.16

2024.12.12 (木) 発行 校長 森 每恵



校訓「強く 正しく 明るく」 教育目標「ふるさとを愛し、夢の実現に向かって考動する児童の育成」
目指す児童像「強い子 正しい子 明るい子」

11 月 9 日 人権集会 ～学んだことを一過性にせず、日常化することが大事～

学年ごとに人権学習で学んだことを、異学年に伝え合う人権集会を行いました。各学年の学習内容は次の通りです。

【1 年】「さるとかに」(出典：なかも)

不合理に気づき、相手の立場に立って感じたり、考えたりすることや、仲間と一緒に問題を解決することを学びました。

【2 年】「ぼくのランドセル」(出典：きずな)

不合理に気づき、相手によって態度を変えることは差別であると気づき、自分たちの身の回りの課題について、自分の思いを伝え、仲間と解決しようという気持ちを高めました。

【3 年】「もやもや書き」(出典：にんげん) 予断と偏見のおかしさに気づき、身の回りの課題について、友達の思いをよく聞き、自分の思いを伝えようという気持ちを高めました。

【4 年】「こんぴらさんのすもう」(出典：きずな)

不合理な差別を受ける主人公の悔しさや怒りに共感し、偏った見方をすることのおかしさに気づくとともに、差別をなくしていこうという気持ちを持ちました。

【5 年】「この子とともに」(出典：きずな) 水俣病に対する偏見や差別の事実をとらえ、偏見や差別に対する怒りを共有するとともに、自分の生き方を見つめ直し、物事を正しく判断することや人間としての真の豊かさ・やさしさ等について考えました。

【6 年】「つくられた差別とのたたかい」(出典：きずな) 部落問題を正しく知り、偏見や差別がどんなに人々を苦しめるかに思い至り、自分の生き方を振りかえり、差別をなくしていこうという気持ちを高めました。



11/8 収穫した餅米で「餅つき」～5 年生～

今年も前畑先生・やはた学童の先生方、八玉会の皆様、5 年保護者の有志の方々のご協力を得て、杵と臼で餅をつきました。前日の餅米洗いから、蒸した餅米をつき、丸める



一連の作業を初めて経験する子どもが大半で、好奇心いっぱい、積極的に活動していました。最後の後片付けまで丁寧に行うことができ感心しました。できたての餅はパックに入れて、日頃お世話になっている方々にお配りし喜んでいただきました。

【お知らせ】

明日の長距離走大会は、応援をよろしくお願いします。

児童集会〈保健委員会〉自考する八幡っ子に！ 「気持ちのよいトイレの使い方を考えよう」

「とてもきれいに使っているトイレもありますが、」と前置きした後に、トイレットペーパーが詰まり使えないトイレの個室や、スリッパが並んでいない様子、トイレットペーパーの切れ端が落ちている様子などを、実際の写真を示して伝えた保健委員。八幡小 3 つの宝「すすんであいさつ きちんとくつ並べ ちり拾い」の日常化に課題が見られました。これからの社会を生きる八幡っ子には、自ら課題を見出し、アクションを起こす力が求められます。「相手意識を持って生活すること」の大切さを改めて考える場になりました。

おもちゃランド開店！～2 年生活科～

やはた保育園と平小城保育園の年長さんを招待して、自作のおもちゃでもてなした 2 年生。遊びのルール説明や声かけも授業参観、1 年生招待と回数を重ねるごとに上手になりました。

今回の活動全体を通して、学んだ「相手意識を持ち工夫を重ねること」を、これからの生活で活かして欲しいと思います。

